

緩和ケア推進事業の取組について

<目的>

地域がん診療連携拠点病院が中心となり、地域の医療機関や関係団体等の協力を得て、役割分担しながら、二次医療圏内における研修会の企画・実施や医療従事者に対する相談支援、地域連携の推進に向けた取組等を行うことにより、地域における緩和ケアの水準向上及び切れ目のない緩和ケアを提供できる体制整備を図る。

<取組内容（例）>

- ・地域の医療機関や関係団体等の協力を得て、緩和ケア連携推進会議（仮）の設置
- ・①地域における緩和ケアの水準向上、②緩和ケアに関する医療資源の情報収集と共有化、③医療従事者に対する緩和ケアの相談支援、④地域連携の推進に向けた取組、⑤がんの在宅療養患者の後方支援体制の確保に向けた検討 等の取組

区西部（事務局：慶應義塾大学病院）

実施体制

◎区西部緩和ケア推進事業運営会議

拠点病院（慶應・女子医・東京医大）や東京都認定がん診療病院（現東京都がん診療連携拠点病院：東京新宿メディカルセンター）を中心に、診療所、訪問看護ステーション、地域包括支援センター、地区医師会等の代表者を委員として構成。事業計画の策定や進行管理等を実施

◎部会の設置

看護師部会やサポーター部会介護福祉部会等、職種ごとの集まりを中心とした7つの部会を設置、取組を実施

主な取組

◎医療資源の調査・リソースマップの作成

圏域内の病院、診療所等への調査、がん緩和医療に係る地域資源をまとめたマップの作成

◎医療従事者向け研修会・多職種カンファレンスの開催

多職種連携のレベルアップを目的とした研修会や多職種による症例検討会等の開催

◎相談支援窓口の設置

医療従事者向けの緩和ケアに関する相談窓口の設置

◎オレンジバルーンフェスタの開催

緩和ケアの普及啓発を目的としたイベント（ミニ講演会、ウィッグ等体験、ネイル・アロマの紹介等）を新宿区、中野区、杉並区内で開催

北多摩南部（事務局：杏林大学医学部附属病院）

実施体制

◎北多摩南部緩和ケア事業推進会議

拠点病院（杏林・武蔵野日赤・都立多摩総）を中心に、診療所、薬局、地区医師会等の代表者を委員として構成。事業計画の策定や進行管理等を実施

◎在宅医療・緩和ケアカンファレンスの設置

- ・「在宅医療・緩和ケアカンファレンス（東部）」

武蔵野日赤を中心に、三鷹市や武蔵野市を中心とした地域で講演会等を開催

- ・「在宅医療・緩和ケアカンファレンス（西部）」

都立多摩総を中心に、府中市を中心とした地域で市民公開講座等を開催

主な取組

◎医療従事者向け講演会、在宅医療・緩和ケアカンファレンスの開催

在宅緩和ケアの理解促進や質の向上等を図るため、医療職・介護職等を対象とした講演会や症例検討会を開催

◎市民公開講座・市民参加型学習会の開催

緩和ケアの普及啓発を目的に、市民を対象とした講演会や学習会を開催

◎在宅医療を支える100人の集い（ワールドカフェ）の開催

異職種の連携を深めるため、医療・介護・福祉職による、職種を超えてのグループトーク（ワールドカフェ方式）

◎緩和ケアマップの作成

圏域内で緩和ケアを行う病院、診療所、居宅介護事業所等のマップを作成